

西郷川水系上西郷川

Saigogawasukei KAMISAIGOGAWA



After

写真：吉村伸一

Before



写真：吉村伸一

子どもが川を好きになる。

河川空間を確保するため川幅を広げ、治水と環境を統合した川づくりを目指しました。片側を土手とすることで水辺に近づきやすい空間とし、河畔には地域性および生態系を考慮した並木を整備。また、巨石や間伐材（※1）等を活用した水制（※2）により、瀬や淵の水の流れが河川自身の営力で維持されるようにしました。その結果、自然な河川環境が創出され、魚種数も増加するなど、生物の生息環境も再生。川づくりは、維持管理体制やイベントの企画運営まで市民・行政・大学機関で協議して決定する徹底的な住民参加が進められ、川遊びや散策、小学生児童の環境学習の場としても活用される川になっています。

※1 森林が成長する過程で木を間引く間伐の際に発生する木材。

※2 川を流れる水の作用（侵食作用など）から河岸や堤防を守るために、水の流れる方向を変えたり、水の勢いを弱くすることを目的として設けられる構造物。



N33度45分33秒 E130度29分31秒
(33.759,130.492)